

試験成績書

様式 8-6 (LED 光源) については、表中の番号を参照のうえ、次のように記入する。

なお、非該当又は適用しない項目は「-」をリストから選択又は記入する。

[1] 社名を記入する。「例：〇〇〇〇株式会社」

[2] 製造者の品名 (型番) を記入する。

[3] 申請する型式の区分をリストから選択する。

光源 (全体消費電力) は、制御装置を含む入力全体値を基に判断する。

制御装置の内蔵、別置、なしの選択については、JIL5002 の 5.3 (器具構成) を参照。

また、制御装置が『なし』のものとは、電球形 LED ランプを使用し、ランプ内に制御装置が内蔵されているものが該当する。

カバーの構成の“着脱可能なもの”とは、工具を用いずにカバーが外れるものをいう。

[4] 器具の定格電圧をリストから選択する (リスト以外も入力可)。電圧値については器具構造により別表 1 を参照。AC、DC は記入しない。

変圧器/制御装置と灯具部がコネクタ等で分離するものは、灯具部のみの電圧値も () 内に記入する。「例：100V(12V)」

[5] 最大 W がある場合は、使用点灯可能な最大 W の光源における器具の定格入力電流値を記入する (銘板記載値)。

記入値については器具構造により別表 1 を参照。

定格電圧に範囲がある場合は、それぞれの定格電圧での定格入力電流値を例に従って記入する。

「例：0.02-0.01A」

変圧器/制御装置と灯具部がコネクタ等で分離するものは、灯具部のみの電流値も () 内に記入する。「例：1.5A(0.5A)」

[6] 最大 W がある場合は使用点灯可能な最大 W の光源における器具の定格消費電力値を記入する (銘板記載値)。

定格電圧に範囲がある場合でそれぞれの定格電圧での定格消費電力値が異なる場合は、それぞれの定格電圧での定格消費電力値を例に従って記入する。

「例：2.2-2.1W」

記入値については器具構造により別表 1 を参照。

変圧器/制御装置と灯具部がコネクタ等で分離するものは、灯具部のみの電力値も () 内に記入する。「例：10W(5W)」

[7] 器具の定格周波数をリストから選択する。

なお、電気特性項目 9 の入力試験、及び温度試験 (様式 9-2) の試験では、消費電力の大きい方の周波数での試験結果を記載する。

[8] 器具に同梱又は指定している光源の代表的な名称と型番・品番を記入する。(リストから「LED ランプ (型番)」を選択し、() 内に型番・品番を記入する。)
「例：LED ランプ (LDA11L-G)」
交換できない光源の場合は、「組込み形 LED 光源」を選択する。器具構造により別表 1 を参照。

[9] LED 光源の灯数をリストから選択する (リスト以外も入力可)。

LED の使用個数に関係なく一体になったものは 1 灯とする。

樹脂ケース等の LED ユニットとして一体になったものは 1 灯とする。

ただし、口金付 LED 光源は一般のランプと同様に考えその灯数を記載する。

[10] 器具の定格に定めたランプの定格電圧と最大定格電力値を記入する。「例：100V 6W」
交換不可の光源の場合、「-」を記入する。

- [1 1] 該当するものをリストから選択する。送り端子がある場合は器具の設計上の最大許容電流を記入する
「例1：【送り端子】（あり）の場合 最大許容電流 6 A」
「例2：【送り端子】（なし）の場合 最大許容電流 —」
変圧器/制御装置と灯具部がコネクタ等で分離するものは、変圧器/制御装置部の入力側送り端子の最大許容電流とする。
- [1 2] 水の浸入に対する保護区分を表し、普通又は防水のいずれかをリストから選択する。防水の場合は、防雨形、防滴形、防湿形、防雨・防湿形のいずれかをリストから選択し、水気の浸入に対する保護等級を杵部（天井面から露出する部位）、本体部（天井内に収まる部位）に分けて記入する「例：防水 防雨形：杵部 IP43：本体部 IP20」。防雨形、防滴形、防湿形の場合は19、20、21項の試験を実施すること。（防雨・防湿形の場合は、19及び21項の試験を実施すること。）
- [1 3] 全ての試験（温度試験を含む）が終了したときの年月日を記入（年は西暦）し、試験責任者の氏名を記入し押印する。
- [1 4] 電気特性試験を実施したときの周囲温度を記入する（小数第一位まで記入）。
- [1 5] 適用の場合は「○」を、適用しない場合は「—」をリストから選択する。
- [1 6] 試験結果に基づき判定を行い、「良」をリストから選択する。ただし、適用しない項目は「—」をリストから選択する。
- [1 7] 「適合」をリストから選択する。ただし、非該当又は適用しない項目は「—」をリストから選択する。
- [1 8] 「適合」をリストから選択する。
- [1 9] 絶縁抵抗の基準値をリストから選択する。
- [2 0] 測定値を記入する。測定器の最大表示値を超える場合は、測定器の測定できる最大値を記入する。
「例：1,000Ω」
- [2 1] 耐電圧の基準値をリストから選択する。
- [2 2] 試験条件と結果を記入する。「例：1,200V 1分間 異常なし」
- [2 3] 「（入力電流測定値）A／（消費電力測定値）W」を記入する。「例：0.252 A／23.10 W」
定格値の下1桁まで記入する。「例：定格入力電流：0.25Aの場合、測定値：0.252 A」
定格電圧に範囲がある場合は、それぞれの定格電圧での測定値を例に従って記入する。
「例：0.021-0.010A／2.19-2.21W」
測定は使用状態で点灯動作の安定後に実施する。
（ ）内には、使用（同梱又は指定）光源を記入する。
LED光源が交換できない場合は、「—」を記入する。
- [2 4] 「適合」をリストから選択する。ただし、非該当又は適用しない項目は「—」をリストから選択する。
- [2 5] 試験結果をリストから選択する。ただし、特定電気用品として登録されている部品の場合は、「試験省略（特定電気用品登録済）」をリストから選択する。
- [2 6] LEDランプ（GX53口金のフラット形含む）のカバーは非適用とする。

※提出時は、網掛けを外す（全てのセルを塗りつぶし「色なし」に設定。）。

<網掛けの色別>

	プルダウンリストから選択
	プルダウンリストから選択又は自由入力可
	手入力

品名(型番) [2] 事業者名 [1]

申請の型式	種類	カバーの構成	光源		制御装置
			種類	消費電力	
			[3]		

【器具】 定格電圧: [4] 定格入力電流: [5] 定格消費電力: [6] 定格周波数: [7]

【光源】 種類: [8] 灯数: [9] 【使用可能光源の最大定格】 [10]

【送り端子】 最大許容電流: [11] 【保護区分】 枠部: 本体部: [12]

試験結果

試験年月日: [13]

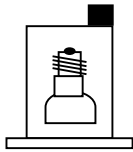
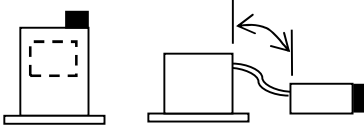
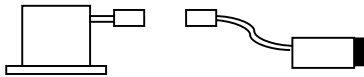
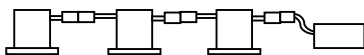
試験責任者: [13] 印

試験周囲温度 [14] °C

項目		基準値・条件その他		適用		試験結果		判定
寸法 構造 表示	1	形状・寸法	仕様図と試験品との合致性の確認		必須	○	[17]	
	2	構造 部品	JIL5002 7.1に適合			○		
					SB形 の場合	[15]		
					必須	○		
						○		
	3	配線	JIL5002 7.2に適合 JIS C 8105-2-2の「外部配線及び内部配線」 に適合			○		
	4	表示(銘板等)	JIL5002 13に適合			○		
	5	取扱説明書	JIL5002 14に適合			○		
電気 特性	6	点灯・始動	JIS C 8105-3の附属書JAの「点灯」に適合			○	[18]	
	7	絶縁抵抗	JIS C 8105-1の「絶縁抵抗 及び耐電圧」 JIS C 8105-3の附属書JA に適合	熱間: [19] 冷間: 30MΩ以上		○	熱間: [20] MΩ 冷間: [20] MΩ	
	8	耐電圧	[21]			○	[22] V 1分間異常なし	
	9	入力	JIL5002 9に適合	入力電流/消費電力 (使用光源)		○	[23] ()	[16]
機械 性能	10	耐湿性	JIS C 8105-1の「耐湿試験」に適合	試験前: [19] 試験後: [21]		○	試験前: [20] MΩ 試験後: [20] MΩ	
						○	[22] V 1分間異常なし	
注1) 参照	11	耐熱衝撃	JIL5002 10に適合		防水形 器具の 場合	[15]	[24]	
	12	耐衝撃	JIS C 8105-1の「機械的強度」に適合	外郭:0.35 Nm 透光カバー:0.2 Nm [26]	必須	○		
熱 特性	13	温度(通常動作)	JIL5002 8に適合	最小傾斜角度(水平天井含む) 最大傾斜角度	必須	○	(様式9-2)	
					傾斜天井 に取付可 能な場合	○	(様式9-2)	
	14	温度(異常動作)	JIL5002 8に適合		必須	○	[24]	
	15	耐久性	JIS C 8105-1の「耐久性試験」に適合			○		
	16	耐熱性	JIS C 8105-1の「耐熱性」に適合		注2) 参照	[15]	[25]	
	17	耐火性	JIS C 8105-1の「耐火性及び耐着火性」に適合					
防水 性能	18	耐火災性	JIL5002に適合		必須	○	[24]	
	19	防雨性	JIS C 8105-1の9.2「じんあい, 固形物及び水気の侵入 に対する試験」に適合		防雨形 の場合	[15]		
	20	防滴性	JIS C 8105-1の9.2「じんあい, 固形物及び水気の侵入 に対する試験」に適合		防滴形 の場合	[15]		
注1) 参照	21	防湿性	JIS C 8105-1の9.2「じんあい, 固形物及び水気の侵入 に対する試験」に適合		防湿形 の場合	[15]		
温度(通常動作)の測定箇所(図示)		JIL5002による			必須	○	(様式9-2)	

注1) 試験のための社内設備を保有していないため、外部で実施した場合は、その成績書を添付すること。
 注2) 感電保護用の外郭を構成する絶縁物及び導電部又は安全特別低電圧部を所定の位置に保持する絶縁物を有する場合は試験を実施する。但し、ソケット、端子台類においては特定電気用品として登録されている部品の場合は、試験を省略することができる。その場合は、部品一覧表に特定電気用品の認可番号(証明書番号)を記載のこと。

別表 1

器具形態	〔4〕 定格電圧	〔5〕 定格入力電流	〔6〕 定格消費電力	〔8〕 光源種類
<p>ランプ（口金）タイプ</p> 	商用電圧	ランプ定格	ランプ定格	事業者型番、 品番
<p>制御装置一体タイプ</p> <p>30cm以下:内蔵 30cm以上:別置</p> 	商用電圧	制御装置を 含めた値	制御装置を 含めた値	組込み形 LED光源
<p>制御装置（分離）タイプ 1対1</p> 	制御装置の入 力側商用電圧 灯具部の入力 側を（ ）内に 記入	灯具部を接続 した時の制御 装置の入力側 灯具部の入力 側を（ ）内に 記入	灯具部を接続 した時の制御 装置の入力側 灯具部の入力 側を（ ）内に 記入	組込み形 LED光源
<p>制御装置別置（分離）タイプ 1対多数</p> 	制御装置の入 力側商用電圧 灯具部の入力 側を（ ）内に 記入	灯具部を接続 した時の制御 装置の入力側 灯具部の入力 側を（ ）内に 記入	灯具部を接続 した時の制御 装置の入力側 灯具部の入力 側を（ ）内に 記入	組込み形 LED光源